NIE実践報告

1．タイトル：自分の考えを発信しよう

2．学校名

兵庫県神戸市立唐櫃小学校

3．実践者名（代表者名）

中村玉樹

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語(総合的な学習の時間含む)　30人

6．単元（本時の学習課題）名

筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

7．目標(狙い)

修学旅行で訪れた広島平和記念公園・資料館での学習で学んだことや「平和」についての自分の考えを発信するために、自分の考えを組み立て、新聞にまとめることができる。

8．評価の視点

読み手に、自分の伝えたいことが伝わるように内容やまとめ方に工夫し、新聞にまとめることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「ヒロシマ」5時間(総合的な学習の時間　調べ学習[現地調査含む])
「平和のとりでを築く」6時間・「自分の考えを発信しよう」5時間(教科書教材)　合計16時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①学習の構えと見通しを持つ。(国語1時間)
②「平和のとりでを築く」を読み、筆者の伝えたいことを考える。(国語5時間)
③広島平和記念公園・資料館の見学をするにあたって、原子爆弾が投下された「ヒロシマ」について、書籍・インターネット・新聞・聞き取りなどで情報収集し、課題を設定する。(総合2時間)
④広島平和記念公園・資料館を見学し、見学内容を整理する。(総合3時間)
⑤新聞として自分が調べたことや考えを読み手に伝えるため、新聞6紙の同じ内容を扱った記事を比較してまとめ方の工夫について考え、新聞にまとめる。(国語３時間)
⑥新聞発表会をし発信する。(国語2時間)
⑦作者の平和に対する考えや、新聞のまとめ方をふり返り、学習のまとめをする。

(留意点)
・新聞を、①「平和」を考える　②読み手に分かりやすい新聞を作る　の2つの資料として扱う。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞6紙を比較することにより、カット見出し、主見出し、袖見出し、リード文、写真や図を比較し、構成のしかたや工夫しているところに気づき、自分たちの新聞づくりに工夫することができた。

12．成果と課題

新聞への関心が高くなり、紙面構成の工夫や大切さに気づくことができた。
教科や総合的な学習の時間の学習内容を、新聞の形にまとめる機会は多い。これからの学習にも生かしていきたい。